

作品です。作りに挑戦が最も評価されていらない美っていることを使った結果すくまとめて

水溶液（砂糖・食塩・硫酸銅など）の飽和について研究した作品です。

この研究は「飽和水溶液に別の物質を飽和させてみる」という大変おもしろい主題から始まります。この実験を進めるなかで予想外

飽和水溶液に別の物質を加えると…？
色の変化や結晶から深まる。水溶液の
なぞ。昇さんの「わくわく・どきどき」
が伝わってきます

め、中学生では解決で
さな問題
もありまし
たが、今後
も研究を継
続していこ
うという姿
勢がうかが
え、将来が
楽しみです

の反応が起きて、その
結果が、昇さんの探求
心をかきたてたようで
す。その主題のおもし
ろさと、実験結果を自
分なりに考察しようと
する意欲が、高く評価
されました。

カタバミの葉は、たがいにぶつからないように上手に閉じるんだね。すごい発見!!

カタバミの生え方や葉の開閉の仕方、種の飛び散り方などを、独自のやり方で研究したすばらしい作品です。

どの実験や観察もねばり強く続けられ、彩織さんの「てっていして調べるぞ!」という意気込みが伝わってきます。

また、カタバミの拡大模型を作り、葉が開くしくみも考えています。観察だけでなく植物のからだのしくみを自分なりの方法で確かめた点には目をみはるものがあり、この作

育ち方や葉の運動の様子、実の中のつくりなど、小さなカタバミをていねいに観察しています。

カタバミに對する好奇心はどんどん広ががついにカタバミをかたどつた家紋探しにまで發展していきます。理科の範圍をこえた、まさに総合的な学習の研究作品ともいえるでしょう。

「アサガオが細いぼうにだけ巻きつくのはなぜ?」「どうやって、ぼうを見わけてるの?」「だれもが見のがしてしまいそうなアサガオのつるのふしぎ。はり金をつるに見たてた実験や、つるの動きの観察からなぞは解き明かされていきます。

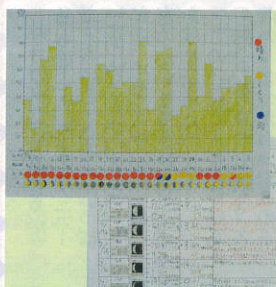
どんな方法を使えば、何がわかるのかをきちんと理解しながら、ていねいに進めた研究です。

岐阜県 岐阜市立城西小学校 3年 森 美沙紀

京都府 光華小学校 5年 中山齊奈

愛知県 刈谷市立小垣江小学校 6年 平野佑佳 石原知佳 筒井菜月

アメリカ サンフランシスコ日本語補習校 3年 川崎詩歩未



その日の天気や月の満ち欠けと、たまごのふ化には、関係があるのかな?!

グラフにまとめました。毎日細かく調べていましたね

家で飼っていたメダカを、いろいろな方法を使って調べた観察記録です。

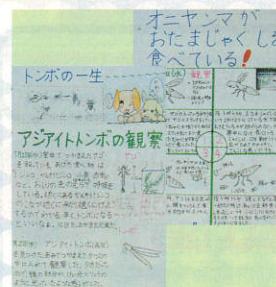
有加さんは、ただメダカの様子を見るのではなく、顕微鏡を利用して目に見えない細かい部分までくわしく調べています。また、ふ

化や交尾の様子をビデオで撮影することにも成功しています。そのなかで、メダカが交尾のときに、オスが背ビレと尾ビレを使っているをだっこしている様子を発見しました。

有加さんの熱意のこもった研究に大変感心しました。

一生懸命取り組んでいる様子が目につくような作品です。

天気や月の満ち欠けと、たまには、関係があるのかな?ととめました。毎日細かく調べね



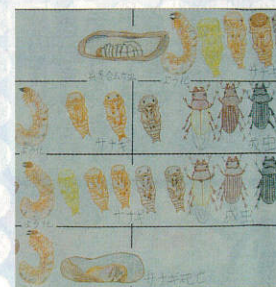
オニヤンマやアジアイトトンボなど
とてもくわしく調べていますね。ヤ
のスケッチを見ても、じっくりと観
していた感じがうかがえます

水辺や、水の中にす
んでいる生きものを観
察した楽しい作品です
家の近くにも、いろ
いろな生きものがいて
ぱいいることがわかつ
ていくわくしながら調
べている様子が伝わっ
てきます。トンボがた
まごを産んでいるところ

や、ヤゴが脱皮しているところなど、ていねいなスケッチと写真をうまく使ってまとめています。

また、観察をしているときに感じたことや考えたことが、自由に書かれていて、麻衣さんの「楽しい！」という気持ちが一ページ、一ページからあふれています。

「楽しい！」これはまさに自由研究の原点です



オオクワガタの成長の様子を、くわし
スケッチしています。絵もとても上手で
大変わかりやすい作品です。もっとい
ろんな昆虫を調べてみるといいです。

今まで見たことも、
さわったこともなかつ
たオオクワガタを、一
年かけて調べ上げた観
察記録です。

オオクワガタの飼育
のなかで、成虫がたま
ごを産むまでの様子や
幼虫の体の変化を、ス
ケッチしながらくわし

く観察しています。またたまごから成虫になるまでの変化を一覧表にまとめたりするなど作り方にも工夫が見られます。

涉さんが、自分の目でとらえたことをくわしく観察することで、オオクワガタへの世界をどんどん広げている点が高く評価されました。まさに自由研究の見本となる作品です。

總評

今年は全体的に、時間をかけて観察し細かく記録を取っていたいねな研究がたくさんありました。また、身のまわりのふしぎを見つけて、それを調べていくというアイデアの光る作品も数多くありました。

理科の研究とは、自分の目や耳、舌、皮膚といった感覚を使って身のまわりの

ことをとらえることから始まります。カメラやパソコンなどを利用した作品も増えていますが、これらは研究の内容をふくらませるつの手段です。このことを忘れず、自分が楽しいと思える研究を、根気強く続けてください。きつとすばらしい作品ができるはずです。